

労働環境の向上(労働安全衛生)

方針

IHIグループは、安全と健康の確保は極めて重要な経営課題のひとつと考え、毎月グループの安全衛生管理状況や健康管理状況を全役員に報告しています。またグループ全従業員が、持てる能力を最大限に発揮できるよう、働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組んでいます。「IHIグループ安全衛生基本方針」に基づき、共に働くすべての人びとが安全で健康に働くことができる職場環境の確保に向けて、右記の取組みを展開しています。

IHIグループ安全衛生基本方針

1. 「安全五原則」をグループ共通の安全衛生行動指針とし、経営幹部ならびに全ての従業員・協力員が労働災害の防止に向けて取り組んでいます。
【安全五原則】
 - 一. 安全はすべてに優先する
 - 一. 危険な作業はしない。させない
 - 一. 災害要因の先取り
 - 一. ルールを守る
 - 一. 自ら努力する
2. 従業員の心とからだの健康保持増進に向けた環境整備と機会提供に努め、健康で働きやすい職場づくりを進めます。
3. 安全衛生に関する諸法令を遵守するとともに、事業活動が地域社会に与える影響にも十分配慮し、社会の一員として安全衛生確保に努めます。

労働環境の向上(労働安全衛生)

IHIグループ健康経営宣言

IHIグループは「人材こそが最大かつ唯一の財産である」との経営理念のもと、従業員の健康を大切にされた経営に取り組めます。

私たちは、従業員の積極的な健康づくりを支援し、従業員がいきいきとその能力を最大限に発揮することで、組織の活性化を図ります。これにより、IHIグループの成長を通じて、社会の発展に貢献します。

2020年7月1日

株式会社IHI 代表取締役社長 井手 博

具体的取り組み

健康経営を、働き方改革との両輪で推進していきます。そして、次の重点施策に、労働組合および健康保険組合と協力して、積極的に取り組みます。従業員の皆さんも主体的に自身の健康づくりに努め、いきいきと働くことのできる職場づくりに参加しましょう。

1. 個人と組織の健康リスク低減
 - (1)健康診断結果に基づく就業管理の徹底
 - (2)ディフェンスメンタルヘルス対策の徹底(不調者への的確な対応、ストレスチェックに基づく職場環境の改善)
 - (3)禁煙、受動喫煙防止への取り組み推進
2. 個人と組織の健康度向上による職場活性化
 - (1)一人ひとりの主体的な自己健康管理に対する支援
 - (2)オフェンスメンタルヘルス対策の推進(いきいきと働き成長を実感できる職場環境づくり、ストレスに強い心の育成)
3. 家族を含めた健康保持増進
 - (1)家族を含めた健康づくり活動の展開
 - (2)健康診断と保健指導の実施率の更なる向上

労働環境の向上(労働安全衛生)

体制

●グループ安全衛生委員会



委員長	安全・衛生関連事項担当役員
副委員長	航空・宇宙・防衛事業領域長, 社会基盤・海洋事業領域長
委員	資源・エネルギー・環境事業領域長, 産業システム・汎用機械事業領域長, 技術開発本部長, 人事部長, その他委員長が指名する者
事務局	人事部 労働・安全グループ
2019年度の開催回数	1回

教育・浸透

●従業員への教育

IHIグループは、従業員への安全衛生教育を、新入社員から基幹職までの階層別教育の中で実施しています。

工場の現業部門従業員が班長・職長になる時期には、各段階で職班長安全衛生教育(Supervisor Safety Training(SST))を実施します。

建設工事の設計・開発部門の従業員に対しては、新入社員、中堅社員、グループリーダー、基幹職などの階層ごとに建設安全衛生一般教育(Construction Safety Standard

Training(CSST))を実施します。

さらに、建設現場の所長・監督員になる従業員に対しては、現場所長安全衛生教育(Site Manager Safety Training(SMST))を実施するほか、教育修了後もフォローアップ教育を行ない、安全衛生についての知識の向上を図ります。

なお、SST、CSST、SMSTのトレーナー養成をIHIグループ内で行なっています。

IHIグループにおける安全衛生教育体系

所 属	受講時期(目安)			
	新入社員	中堅社員	課長	部長など
工場現業系社員	新入社員教育	班長安全衛生教育SST-I 職長安全衛生教育SST-II など	新任基幹職教育	基幹職 フォローアップ教育 など
建設	設計・開発など	CSST中堅社員コース CSSTグループリーダーコース	CSST基幹職 コース	CSST事業部長/ 部長コース
	所長・監督 (建設現場)	新入社員教育 CSST新入社員 コース	SMST基礎コース (所長・監督任用決定後) SMST全社統一フォローアップ (基礎コース受講の翌年) SMSTフォローアップコース (1~3年に1回)	SMST基幹職コース

注) SST：職班長安全衛生教育(Supervisor Safety Training)

CSST：建設安全衛生一般教育(Construction Safety Standard Training)

SMST：現場所長安全衛生教育(Site Manager Safety Training)

労働環境の向上(労働安全衛生)

教育・研修の受講者数 (単位：名，対象：IHIおよび国内関係会社)

項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
職長研修	30	33	26	48
班長研修	69	85	83	103
技能系リーダー研修	—	—	33	165
Site Manager Safety Training (SMST)教育基礎コース(修了者数)	215	246	260	169
Supervisor Safety Training (SST), SMSTトレーナー養成講座(修了者数)	25	13	31	18

目標・実績

労働安全衛生度数率目標

項目	目標	目標年度
全災害度数率	1.1未満	2019
休業災害度数率	0.2未満	2019

健康管理

(対象：IHIおよび関係会社34社)

項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
健康診断有所見率	70%	69%	70%	71%
ストレスチェック受検率	90%	91%	96%	94%
アブセンティズム (3カ月以上の休業者数)	0.9%	0.9%	0.9%	1.0%
プレゼンティズム (就業制限者数)	2.1%	1.6%	1.7%	1.6%
喫煙率	29%	28%	28%	27%

休業災害度数率^{※1}

(単位：件，対象：IHIおよび関係会社30社)

項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
IHIグループ平均	0.33	0.57	0.26	0.40
全国製造業の平均 ^{※2}	1.15	1.02	1.20	1.20

※1 100万のべ労働時間あたりの労働災害による死傷者数(不休災害を除く)。

※2 対象：事業所規模100名以上(抽出調査)

全災害度数率^{※3}

(単位：件，対象：IHIおよび関係会社30社)

項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
全災害度数率	1.31	1.64	1.11	1.49

※3 100万のべ労働時間あたりの労働災害による死傷者数

職業性疾病度数率^{※4}

(単位：件，対象：IHIおよび関係会社34社)

項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
職業性疾病度数率	—	—	0.165	0.165

※4 100万のべ労働時間あたりの職業性疾病者数

労働災害件数^{※5}

(単位：件，カッコ内は死亡災害の内数，対象：IHIおよび関係会社30社)

項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
総数	68(1)	87(1)	55(0)	71(0)
従業員	41(0)	52(0)	28(0)	42(0)
派遣社員	0(0)	4(0)	4(0)	4(0)
協力員	27(1)	31(1)	23(0)	25(0)

※5 労働災害による死傷者数

労働環境の向上(労働安全衛生)

労働組合に加入している従業員の割合

(単位：%，対象：IHIおよび連結子会社6社)

項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
労働組合に加入している従業員の割合	73	74	73	73

労働に関する苦情受付件数

(単位：件，対象：IHI)

項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
労働に関する苦情受付件数	0	0	0	0

取組み

●安全衛生管理の徹底

●健康管理

IHIグループは、従業員一人ひとりが働きがい・生きがいをもって働ける環境をつくるのが、個人の生産性向上や職場活性化につながると考え、心とからだの両面から健康管理に取り組んでいます。

特にメンタルヘルス教育では、ディフェンス(不調者へのきめ細かい個別フォロー、復職支援特別勤務制度や再適応プログラムを活用した対応)とオフェンス(メンタルタフネス：モチベーションやコミュニケーション、パフォーマンスを向上させるための教育など)を実施し、管理監督者から新入社員まで、生き生きと働く人づくりと職場づくりを目指しています。

また、メタボリック症候群や偏った生活習慣の改善、禁煙などの健康対策にも継続して取り組んでいます。

●安全衛生管理

IHIグループは、グループ共通の行動指針「安全五原則」に基づき、労働災害の撲滅に取り組んでいます。

工場や建設現場ではリスクアセスメントを実施し、本質的・物理的対策を優先した確実なリスク低減を図っています。また労働災害撲滅に向けて、従業員の安全教育を定期的に行なっています。工場構内や建設現場で働く協力業者に対しても安全衛生管理水準の向上に向けた支援を行ない、共に安全な職場づくりに取り組んでいます。こうした安全衛生の確保に向けた取組みを、労働安全衛生マネジメントシステムに基づいて実施しています。

●労働に関する苦情処理

IHIは、従業員の苦情を公正迅速に処理し、明朗な職場環境を樹立することを目的として、労働協約に基づき苦情処理委員会を設置しています。

●新型コロナウイルス感染拡大への対策

P.34 危機管理